学校番号	T1206

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書道Ⅰ　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小、中学校の書写で学んだことを発展させて、道具による表現の違いを学びます。
・古典、古筆を通して書の歴史や技法を学び、臨書作品や創作作品を制作、鑑賞をおこない、たくさんの書の形に触れ、書のよさや美しさを味わってもらいたいです。
・授業の進め方は、書の歴史の学習、古典や古筆の鑑賞、臨書作品の制作、古典や古筆で学んだ技法を用いた創作作品の制作が主なものになります。
・書の作品制作や鑑賞を通して、自己表現の幅を広げ達成感を味わい、みなさんの日常の中に書道が溶け込んでいけたらと思っています。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。
(2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えることができる。
(3) 主体的に者の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な能力を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図し基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養っている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書写から書道へ・漢字の変遷とさまざまな書	・国語科書写と芸術科書道の違い、用具、用材の特徴、漢字の変遷について理解する。	a:書写と書道の類似点や相違点、用具、用材の特徴、漢字の変遷を理解している。(知・鑑) b:国語科書写での基礎・基本を理解し技法を身につけている。(技・表) c:書写と書道の類似点や相違点、五書体に興味を持ち、今後の学習に主体的に取り組もうとしている。(鑑))	ワークシート 作品	ワークシート	授業観察 振り返りプリント
	漢字の書・楷書	・唐の四大家の古典臨書を通じて、古典の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。(臨書) ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。(一字創作)	a:唐の四大家の古典の表現の方法や形式、多様性などについて理解している。(知・表) a:書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。(技・表) b:唐の四大家の古典の知識や技能を生かしながら、意図に基づいて作品を構想し工夫している。(表) b:他の生徒の作品の良さについて味わい捉えたりしている。(鑑) c:相互評価を通じて、技術向上を目的とした活動に主体的に取り組もうとしている。(表) c:唐の四大家の美と表現方法について関心を持ち、作品の意味や価値を考えながら、幅広い鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)	ワークシート 作品	ワークシート	授業観察 振り返りプリント

	篆書　篆刻	・泰山刻石の古典臨書を通じて、古典の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。(臨書) ・篆刻の用具・用材、制作手順を理解し、印を制作する。	a:篆書の表現方法や形式、筆の弾力の活かし方を理解している。(知・表) a:印稿を効果的に作成するための基礎的な技能を身に付けている。(技・表) b:印稿を効果的に作成するために表現を工夫している。(表) c:篆書・篆刻に興味を持ち、自身の意図に基づいた印の制作に主体的に取り組もうとしている。(表) c:篆書・篆刻の良さや美しさを感受し、作品の意味や価値を考えながら、幅広い鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)	ワークシート 作品	ワークシート	授業観察 振り返りプリント
2学期	漢字かな交じり書		a:用具・用材の表現効果や漢字と仮名の調和の仕方を理解している。(知・表) a:線質、字形、全体の構成等の要素から生み出される雰囲気の違いについて理解している。(知・鑑) a:効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。(技・表) b:漢字の書、漢字と仮名の調和の学習を生かし、作品の意図を明確にし、作品を構想し工夫している。(表) c:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。(表) c:作品の意味や価値を考えながら、幅広い鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)	ワークシート 作品	ワークシート	授業観察 振り返りプリント

	漢字の書　行書	・行書の古典臨書を通じて、古典の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。(臨書) ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。(一字創作)	a:行書の古典の表現の方法や形式、多様性などについて理解している。(知・表) a:書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。(技・表) b:行書の古典の知識や技能を生かしながら、意図に基づいて作品を構想し工夫している。(表) b:他の生徒の作品の良さについて味わい捉えたりしている。(鑑) c:相互評価を通じて、技術向上を目的とした活動に主体的に取り組もうとしている。(表) c:唐の美と表現方法について関心を持ち、作品の意味や価値を考えながら、幅広い鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)	ワークシート 作品	ワークシート	授業観察 振り返りプリント
	漢字の書　楷・行書創作	・漢字の書の学習を通じて、古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。	a:用具・用材の表現効果や漢字と仮名の調和の仕方を理解している。(知・表) a:線質、字形、全体の構成等の要素から生み出される雰囲気の違いについて理解している。(知・鑑) a:効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。(技・表) b:漢字の書の学習を生かし、作品の意図を明確にし、作品を構想し工夫している。(表) c:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。(表) c:作品の意味や価値を考えながら、幅広い鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)	ワークシート 作品	ワークシート	授業観察 鑑賞会プリント

3学期	仮名の書	・行書の古典臨書を通じて、古典の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。(臨書)	a:仮名の古筆の表現の方法や形式、多様性などについて理解している。(知・表) a:書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。(技・表) b: 仮名の古筆の知識や技能を生かしながら、意図に基づいて作品を構想し工夫している。(表) b:他の生徒の作品の良さについて味わい捉えたりしている。(鑑) c:相互評価を通じて、技術向上を目的とした活動に主体的に取り組もうとしている。(表) c:仮名の美と表現方法について関心を持ち、作品の意味や価値を考えながら、幅広い鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)	ワークシート 作品	ワークシート 作品	授業観察

	仮名の書　創作	・はがき作品制作 語句の選定 文字調べ 草稿作成	a:ひらがなと変体仮名の違い、用具・用材の表現効果や漢字と仮名の調和の仕方を理解している。(知・表) a:線質、字形、全体の構成等の要素から生み出される雰囲気の違いについて理解している。(知・鑑) a:効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。(技・表) b:高野切第三種の学習を生かし、作品の意図を明確にし、作品を構想し工夫している。(表) c:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。(表) c:作品の意味や価値を考えながら、幅広い鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)	ワークシート 作品	ワークシート 作品	授業観察 振り返りプリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

a:楷書の表現技法や古典の特徴を理解し、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。

b:楷書の学習を生かし、作品の意図を明確にし、作品を構想し工夫して表している。

c:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

a:蘭亭序と風信帖の表現の方法や形式、多様性などについて理解し、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。

b:蘭亭序や風信帖、三筆と三蹟の知識や技能を得たり生かしたりしながら、作品を構想し工夫して表している。

c:蘭亭序と風信帖、唐様と和様の書の美や表現方法に関心を持ち、主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。